

本庁舎には180人、水道庁舎を含めると3町からは210人が移動の予定ですが、それら職員の机やイスなど備品をそれだけで3,800万円もの補正予算を組み「新規に購入する」というのです。

市長は、「合併で人を減らす。それが合併の最大の効果だ！」と断言していたのですから、毎年40人50人と人は減ると、みんな思っていましたよね。ですから、いらなくなる備品を新しくする必要など、どこにもないはず。そんな噂に、何を寝ぼけたことを…と、思っていたら、今になって「人は減らない！」と言うのです。

住民に知らせてきたような人件費の削減は及ばないということは、これまでもお知らせしてきた通りですが、「本庁舎の人員は、10年経っても、今とそれほど変わらない」などと企画部長が言い始めました。だから、机もイスも新しくする??…そーんなバカな！減らないのも問題だけど、それにしだって、今あるモノを使わないでどうするんです、子どもじゃあるまいし。

合併問題に関して、非常に問題なのは、市は、すぐに前言をひるがえすこと。住民が誤解するような「データの出し方を、わざわざすること」いったい、これからの10年間で、人員が何人になるのか…未だに明らかにしないのですから、人件費が減るなんてウソ。

結局、「合併の効果」なんて、ない。でなければ、逆効果の方が大きい。それらを隠している…と言われることになってしまうのです。

のりこは、思います。合併が決まったからには、「ホントに、問題は問題として明らかにして、首長も議会も職員も、1市3町みんなで知恵を出し合う」これに力を集中するべきです。

からくりは、まだまだあります。これからも順次お知らせしていきます。

合併に伴って10名増員となる議員の机とイス。  
これも、全部新しくする予算が組まれているといいます。

これこそ要りません。  
今、吉良町岡山にある広域連合の議場にあるモノを持ってくれば済む話。  
12人分あるのですから、まだ余ります。

本体1セットが50万円。マイク他の設備で10万円もかかるんですよ。  
どこにそんなお金があるやら。住民が聞いたら怒りますよ！！

素材はナラ材で、大きさも変わらない立派なもの。  
第一、まだ10年しか使っていません。  
連合議会は年間7～8日しか開催されないんですから、  
通算で80日ってこと。

岡山に連合の3階建ての施設を建設する10年前までは、  
現在の市役所の隣にある水道庁舎の3階に、議場がありました。  
そこにも、立派な議員席があったのですが、それらを全部放棄して、  
新たに連合に議場を造ったのです。

水道議会の議場は、赤じゅうたんもそのままに、ずっと、倉庫に  
なっていたんですから、もったいない話じゃありませんか。  
このことは以前、「辛口議会だより」でお知らせしたこともありますから、  
覚えていらっしゃる方もあると思います。

今また、こんなムダが許されるというのでしょうか？？  
それも、今の議場の備品は、あの談合事件を仕切った人物が納めたもの。  
反省の意味も込めて、今あるモノを使うべきです。  
連合の議場は、1市3町合同で建設したもの。それも、まだ借金を返済中です。  
いわば、合併の象徴じゃありませんか。

この件も、12月議会で、再考を求める提案をしました。  
同僚議員たちは理解してくれると信じていますし、3町の議員の方々にも  
そういう声があると聴いています。  
市では、3町の備品、連合の議場についても早急に調査し、  
使うようにしたいとの答弁でした。修正を期待しています。